

## 1 目標

平成17（2005）年の岡山国体及び障害者スポーツ大会を契機とした県民のスポーツに対する意識の高まりが、県内を拠点に活動するトップクラブチームの活躍、平成27（2015）年に始まったおかやまマラソンの開催、東京オリンピック・パラリンピックなどを経て、「する」「みる」「ささえる」というスポーツへの様々な関わり方として定着してきました。

一方、人口減少・長寿社会の到来や、ライフスタイルの変化、新型コロナウイルス感染症の影響等、スポーツを取り巻く社会環境の変化により、「する」「みる」「ささえる」を持続的に発展させるため、国の「第3期スポーツ基本計画」において、相互に密接に関係し合う3つの「新たな視点」が次のとおり示されました。

- ① 社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを「つくる／はぐくむ」という視点
- ② 様々な立場・背景・特性を有した人・組織が「あつまり」、「ともに」活動し、「つながり」を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点
- ③ 性別、年齢、障害の有無、経済的事業、地域事情等にかかわらず、すべての人がスポーツにアクセスできるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点

県では、スポーツを通じた人づくり、健康づくり、地域づくりの輪が広がり、夢、勇気、感動を創出できる「スポーツ立県おかやま」の発展を目標とし、その達成に取り組めます。そして、目標のスローガンを「誰もがともに「する」「みる」「ささえる」スポーツで明るい笑顔の生き生き岡山」とし、「スポーツ立県おかやま」の目指すべき姿を、分かりやすく県民の皆さんに伝えていきます。

### <目標>

#### 「スポーツ立県おかやま」の発展

～誰もがともに「する」「みる」「ささえる」  
スポーツで明るい笑顔の生き生き岡山～

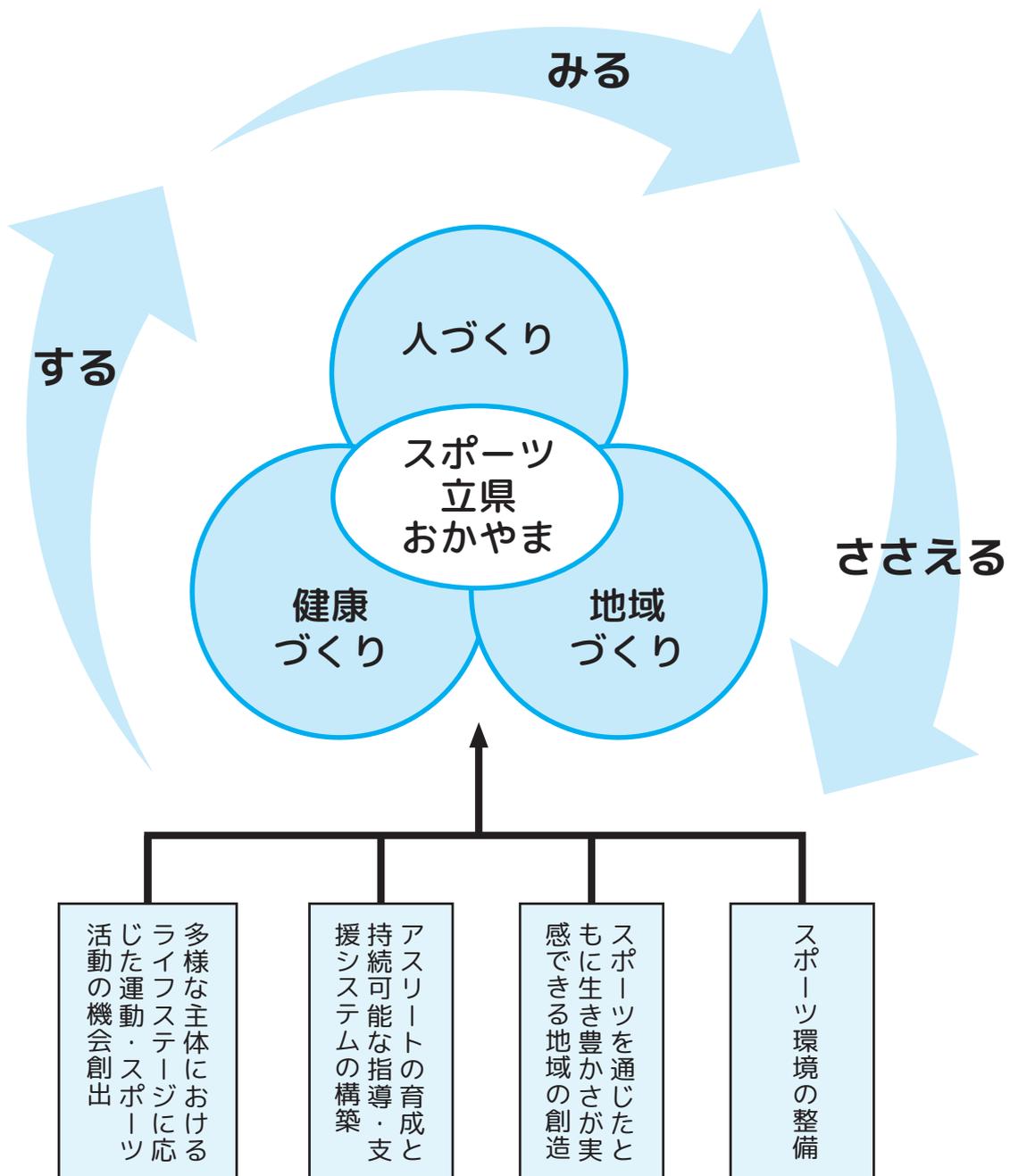
## 2 施策体系

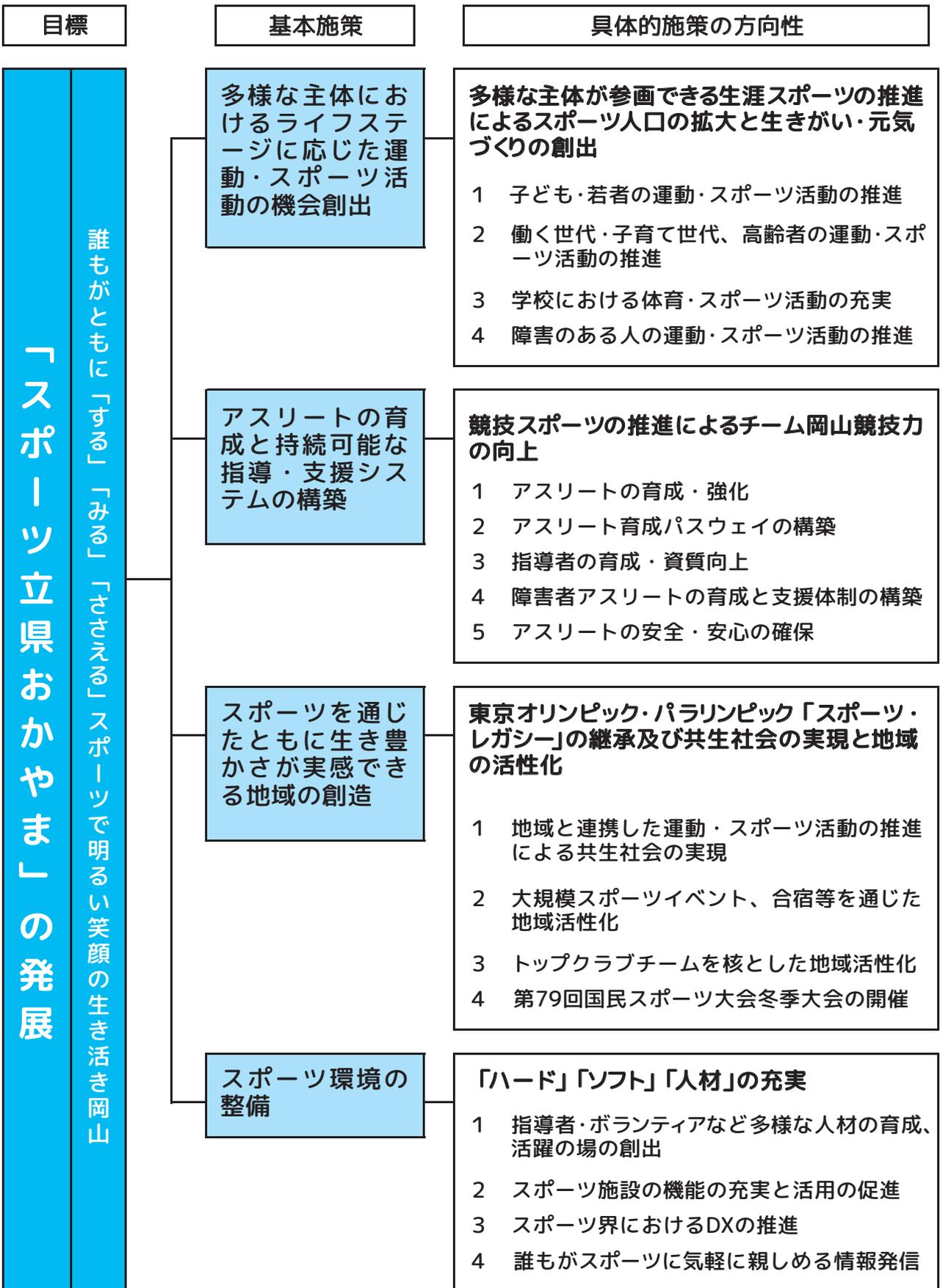
「スポーツ立県おかやま」の発展のため、令和4（2022）年3月に策定された国の「第3期スポーツ基本計画」も踏まえ、次の4つの基本施策を柱とし、各種施策を展開します。

- I 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出  
～多様な主体が参画できる生涯スポーツの推進によるスポーツ人口の拡大と生きがい・元気づくりの創出～
- II アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築  
～競技スポーツの推進によるチーム岡山競技力の向上～

Ⅲ スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造  
 ～東京オリンピック・パラリンピック「スポーツ・レガシー」の継承及び共生  
 社会の実現と地域の活性化～

Ⅳ スポーツ環境の整備  
 ～「ハード」「ソフト」「人材」の充実～





### 3 数値目標

取組の効果が検証できるよう、15の数値目標を設定します。

基本施策

1

#### 多様な主体におけるライフステージに応じた運動・スポーツ活動の機会創出

| 数値目標                          | 策定時  | 目標値  |
|-------------------------------|--|--|
| 成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合     | <b>38.9%</b><br>(R4年度)   | <b>55.0%</b><br>(R9年度)   |
| 1週間の総運動時間数60分未満の児童生徒数の割合(※)   | 小5男子 <b>9.5%</b><br>小5女子 <b>15.5%</b><br>中2男子 <b>7.6%</b><br>中2女子 <b>17.9%</b><br>(R4年度)   | 小5男子 <b>4.3%</b><br>小5女子 <b>7.4%</b><br>中2男子 <b>3.7%</b><br>中2女子 <b>8.9%</b><br>(R9年度)         |
| 運動やスポーツをすることが好きな児童生徒数の割合(※)   | 小5男子 <b>69.2%</b><br>小5女子 <b>53.1%</b><br>中2男子 <b>64.1%</b><br>中2女子 <b>47.8%</b><br>(R4年度) | 小5男子 <b>75.0%</b><br>小5女子 <b>60.0%</b><br>中2男子 <b>65.0%</b><br>中2女子 <b>50.0%</b><br>(R9年度)     |
| 新体力テストにおける総合評価C以上の児童生徒数の割合(※) | 小5男子 <b>64.3%</b><br>小5女子 <b>69.9%</b><br>中2男子 <b>67.6%</b><br>中2女子 <b>81.7%</b><br>(R4年度) | 小5男子 <b>80%</b> 以上<br>小5女子 <b>80%</b> 以上<br>中2男子 <b>85%</b> 以上<br>中2女子 <b>85%</b> 以上<br>(R9年度) |
| 障害者スポーツ・レクリエーション教室等の開催回数      | 年間 <b>26</b> 回<br>(R3年度)   | 年間 <b>50</b> 回以上<br>(R7年度)   |

※目標値は第4期岡山県障害者計画で設定

(※) 政令指定都市である岡山市は、義務教育の実施に様々な権限を有し、それに基づいて岡山市の実態を踏まえた独自の教育施策を推進していますが、県スポーツ推進計画は、岡山県の全世代の県民を対象にしていることなどから、ここでは、岡山市も含んだ数値を目標としています。

## アスリートの育成と持続可能な指導・支援システムの構築

| 数値目標                       | 策定時                                 | 目標値                        |
|----------------------------|-------------------------------------|----------------------------|
| 国民体育大会における天皇杯順位（※）         | <b>16位</b><br>(R4年)                 | <b>10位台</b><br>(R9年)       |
| 世界大会の出場者数                  | <b>13人</b><br>(H30年～R3年（R2年を除く）の平均) | <b>15人</b><br>(R7年～R9年の平均) |
| 「岡山県アスリート就職支援事業」による県内就職内定者 | <b>4人</b><br>(R3年度)                 | <b>5人</b><br>(R9年度)        |
| 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者登録者数      | <b>3,206人</b><br>(R4年度)             | <b>3,500人</b><br>(R9年度)    |

（※）「国民体育大会」は、令和6年第78回大会から「国民スポーツ大会」に名称変更します。

## スポーツを通じたともに生き豊かさが実感できる地域の創造

| 数値目標   | 策定時                    | 目標値                    |
|--|------------------------|------------------------|
| 地域課題に応える取組の推進として学校との連携を行っている総合型地域スポーツクラブの割合          | <b>34.3%</b><br>(R3年度) | <b>50.0%</b><br>(R9年度) |
| 「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合 | <b>28.2%</b><br>(R4年度) | <b>38.0%</b><br>(R9年度) |
| 国際スポーツイベント等誘致件数                                      | <b>2件</b><br>(R4年度見込)  | <b>2件以上</b><br>(R9年度)  |
| トップクラブチームのホームゲームにおける観客動員数                            | <b>111千人</b><br>(R3年度) | <b>267千人</b><br>(R9年度) |

## 基本施策

## IV

## スポーツ環境の整備

| 数値目標                           | 策定時                                | 目標値                       |
|--------------------------------|------------------------------------|---------------------------|
| 県営スポーツ施設利用者数                   | <b>492</b> 千人<br>(R3年度)            | <b>1,847</b> 千人<br>(R9年度) |
| スポーツ情報ウェブサイト「おかやまスポーツナビ」のアクセス数 | <b>28,103</b> 件<br>(H30年度～R3年度の平均) | <b>42,000</b> 件<br>(R9年度) |